

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地							
大阪アニメーションカレッジ専門学校		平成16年3月30日		田中道信		〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-29-7 (電話) 06-6369-5167							
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地							
学校法人大阪創都学園		昭和63年3月30日		鈴木雅文		〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-29-18 (電話) 06-6369-5164							
分野		認定課程名		認定学科名		専門士		高度専門士					
服飾・家政		文化・教養専門課程		マンガ・イラスト学科(キャラクターイラストコース)		平成17年文部科学省告示第177号		-					
学科の目的		教育基本法、及び学校教育法に基づきマンガ製作やイラスト表現に関し必要とされる技能を養成し、又は教育の向上を図ることを目的とする。											
認定年月日		平成31年3月5日											
修業年限		昼夜		講義		演習		実習		実験		実技	
2		1802		150		1230		422		0		0	
生徒総定員		生徒実員		留学生数(生徒実員の内)		専任教員数		兼任教員数		総教員数			
80人		98人		3人		7人		5人		12人			
学期制度		■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～翌年3月31日				成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 前後期試験結果及び出席・平常点等総合評価					
長期休み		■学年始:4月1日 ■夏 季:7月21日～8月31日 ■冬 季:12月21日～1月9日 ■学年末:翌年3月31日				卒業・進級条件		前後期総合評価結果及び2/3以上の出席					
学修支援等		■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 電話・家庭訪問及び保護者との情報共有				課外活動		■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 地域ボランティア清掃活動、地域イベントでの似顔絵コーナーの出店「イラストワークショップ」開催など ■サークル活動: 有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和4年度卒業生に関する令和5年5月1日時点の情報)					
就職等の状況※2		■主な就職先・業界等(令和4年度卒業生) 出版社、ゲーム制作会社、IT系メディア制作会社 ■就職指導内容 ・企業研修/就職活動対策講座/学内外での企業説明会 ■卒業者数 36 人 ■就職希望者数 22 人 ■就職者数 15 人 ■就職率 68 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 41.7 % ■その他 ・進学者数: 0 人 (令和4年度卒業生に関する令和5年5月1日 時点の情報)				主な学修成果(資格・検定等)※3		※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等					
中途退学の現状		■中途退学者 6 名 令和4年4月1日時点において、在学者87名(令和4年4月1日入学者を含む) 令和5年3月31日時点において、在学者 81名(令和5年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 ・経済的理由 ・進路変更 ・学業不振の為 ■中退防止・中退者支援のための取組 個人面談を定期的に実施。個別のマッチング状況を確認。また、毎月の出席率管理を行い保護者とも連絡を取り登校を促すことで継続意欲を持たせる。				■中退率 7 %							
経済的支援制度		■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 特待生制度 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載											
第三者による学校評価		■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)											
当該学科のホームページURL		ホームページにおいて公開(URL: http://www.osaka-anime.jp/data/)											

(留意事項)
1. 公表年月日(※1)
最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください
2. 就職等の状況(※2)
「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。
(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について
①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。
②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。
③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。
※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。
(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について
①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。
②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。
(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進
3. 主な学修成果(※3)
認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

教育課程編成委員会においては、本校教育課程充実に向け、各学科関連業界との連携を密にし、現状カリキュラムの確認や今後取り入れていくべき内容についての関連な意見交換を行う。また、審議内容についての本校教育課程への導入等について審議していくものとする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

本委員会は、各学科ごとに実施運営される。本委員会にて決議した内容については学校長へ答申し、学科別会議や各専攻分会、授業別会議等において、内容等について審議したうえで教育課程編成に可能な範囲で反映していくものとする。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年7月31日現在

名 前	所 属	任期	種別
遊佐 かずしげ	学校法人 京都精華大学 マンガ学部教授	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	②
高垣 雅彦	日本橋まちづくり振興 株式会社 日本橋CGアニメ村事務局 長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	①
佐藤 龍	株式会社 EARLY WING 代表取締役	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	③
高原 久弥	株式会社 ハヤブサフィルム 代表取締役	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	③
小畠 昌男	株式会社 ラクジン 管理部 課長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	③
和田 伸一	大阪アニメーションカレッジ専門学校		総合学科 学科長
佐野 美波	大阪アニメーションカレッジ専門学校		声優学科 学科長
西嶋 信一郎	大阪アニメーションカレッジ専門学校		アニメーション学科 学科長
鈴木 祐	大阪アニメーションカレッジ専門学校		マンガ・イラスト学科 学科長
西尾 拓也	大阪アニメーションカレッジ専門学校		副校長

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (9月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年10月18日 12:30～14:00

第2回 令和5年4月20日 10:00～11:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

ポートフォリオ制作において、ターゲットやコンセプト、リサーチ情報など企業の採用担当者が知りたい内容を盛り込むことで情報を伝える能力を示せるように指導。また、コミュニケーション能力も重視し1年次からグループ制作の授業を実施。2年次は、現場に近い形で、連携作業を考慮したカリキュラムを導入。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校は、カリキュラム・授業構築において業界関係企業との連携を密にし、実践に対応した教育内容を提供するために努力していく。また、内容に応じて業界関係企業と提携し、実技・実習・演習等の運営を委託し実施していく。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

企業連携により目指す職業に必要な不可欠な色彩設計の基礎から幅広い知識と、実際に色を使うための技能の両方に重点をおいて色彩感覚を学びます。全国美術デザイン教育振興会が運営する「色彩士検定3級」を受験取得。又、業界の方を講師として直接指導及び作品審査、評価を頂き、成績評価を行います。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
色彩設計	色彩による視覚効果の理解を深め、作品の中に反映させることを目的とします。色彩士検定3級取得するための対策授業。	株式会社 色彩力一サ

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教職員が学校の基本方針を理解し業務を遂行する上において、自身の自己研鑽に努めることの必要性を理解するとともに、学生・生徒の人材育成において必要な知識や技術の習得を目的とする。また、全体での実施はもちろん、自己研鑽における自発的な研修参加や各種表現活動等についても業務に支障のない範囲でバックアップする。教員は、大阪創都学園 講師・教職員研修規定に基づいて、学園又は各種団体等の研修を受け、資質の向上に努めていく。その内容については、教務部が定める年間行事予定において計画される。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「Adobe Education Forum 2022」(連携企業等:アドビ株式会社、株式会社Too)

期間:令和4年8月2日 対象:教員4名

内容:昨今の教育現場のデジタルツールの変化を理解し、デジタルテクノロジーを活用して人間ならではの創造性を発揮し問題解決に取り組む力「クリエイティブ・デジタルリテラシー」について考察する。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「著作権セミナー」(連携企業:エヌラルゴ行政書士事務所)

期間:令和5年3月23日 対象:教職員75名

内容:教育現場における著作権についての知識を深める

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「クリエイターのための著作権セミナー」(連携企業等:大阪デジタルコンテンツビジネス創出協議会)

期間:令和5年10月 対象:教員4名

内容:ゲームイラストCG業界で働く人のための著作権知識を深めるセミナー

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「Z世代の育て方講座」(連携企業等:NPO法人HELLOlife)

期間:令和6年3月 対象:教職員75名

内容:Z世代の価値観と、個の状況に合わせた育成方法や指導方法の紹介

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価においては、本校にて実施している自己評価を基に、業界企業・教育団体・地域との連携による教育活動など、本校教育活動についてを説明。そして、さらなる教育活動へつなげていくために多角的にその運営が適正に行われているのかを審議・助言いただき、今後の発展・改善に寄与していく。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念・目標
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	学修成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	※該当なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

・産学協同授業では、例年通り実施し高い学習効果を得ている。
・複数高校との教育プログラム提携を実施。専門的はカリキュラムを高校生向けに再構築し、卒業生支援の一環で本校卒業生を高校へ派遣。マンガイラストの授業を実施している。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和5年7月31日現在

名 前	所 属	任期	種別
石井 博章	江坂企業協議会 副会長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	地域関係者
東 龍太郎	科学技術学園高等学校 通信課程大阪分室長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	教育関係者
三原 淑治	エム・アイ・プランニング株式会社 代表取締役	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	業界関係者
北原 優希	株式会社キャラ 所属ナレーター・タレント	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <http://www.osaka-anime.jp/data/>

公表時期: 10月31日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の理念でもある、“業界にとって信頼できる人材育成機関であること”を実践していくためには、本校教育内容等の情報提供について積極的に行っていくべきである。本校は、学生の日常・教育内容などについてWEBサイト・冊子の発行等を通じて行っていくこととする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校概要、教育理念、教育目標
(2)各学科等の教育	各専攻カリキュラム概要
(3)教職員	講師、特別講師
(4)キャリア教育・実践的職業教育	産学協同特別授業
(5)様々な教育活動・教育環境	日常トピックス、行事レポートの公表
(6)学生の生活支援	※該当なし
(7)学生納付金・修学支援	募集要項、教育ローンの案内
(8)学校の財務	学校の財務
(9)学校評価	自己評価、学校関係者評価
(10)国際連携の状況	※該当なし
(11)その他	※該当なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <http://www.osaka-anime.jp/data/>

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 マンガ・イラスト学科 キャラクターイラストコース)																
分類				授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
1	○			デッサン	形を捉えるクロッキー力や明暗、立体感などの捉え方を学び、基礎的な画力をつける ものを見る観察力を養い大型デッサンや応用的な作品作りを目指す。	1・2年通年	300	20		○		○		○		
2	○			業界概論	将来進む進路である業界を知り、業界に進むための基礎知識を身につけ、就職デビューに向けた指導を含めたポートフォリオ制作	1・2年通年	120	8	○			○		○		
3	○			色彩設計	色彩士検定3級公式テキストを使用し、色彩の基礎から応用までの幅広い知識と技能を指導する。	1年半期	30	2	○			○			○	○
4		○		ポートフォリオ制作	Photoshopの基礎を学ぶ。画像編集、イラスト作画。ポートフォリオ制作。Photoshopの機能を学びながら、ポートフォリオ用の作品を作成する。	1・2年通年	240	16		○		○		○		
5		○		DTP	AdobeIllustratorにおける各ツールを理解し、イラストやDTPなど様々な目的に合わせ、作品を仕上げる。イラストレータ上で使用する画像はAdobePhotoshopを使用する。	1・2年通年	180	12		○		○			○	
6		○		背景	背景を描く上で必要なパースペクティブの基礎理論を実習を交えながら理解し、ゲーム企画書を元にゲーム画面を意識した背景イラスト制作をしていきます。	2・1年半通年	150	10		○		○			○	
7		○		色彩構成	絵の具（透明水彩、ポスカ）の扱い方、混色を学び、色彩感覚の幅を広げ、作品作りに活かせるようにする。	2・1年半通年	120	8		○		○		○		
8		○		キャラクターデザイン	漫画・イラスト風の人物キャラクターを描けるように、1年かけて習得する。	1年通年	120	4			○	○			○	
9		○		ビジュアルコミュニケーション	前期：社会人として生きてゆくための基本的なコミュニケーションを学ぶ 後期：紙芝居の制作を通してコミュニケーション力を養い、限られた時間で効率的に仕事をする術を学ぶ	1年通年	60	4		○		○			○	
10		○		イラストレーション基礎	コピック・カラーインク等アナログ画材での塗り方や表現の仕方を覚える。	1年半期	60	2			○	○			○	
11		○		ゲーム企画	WEBデザインのTOPページを、ジャンル別に作成。幅広い絵柄で作成するよう意識してもらう。ゲームを意識したUIなども作成していく。	2年通年	120	8		○		○			○	
12		○		エフェクトデザイン	魔法や自然現象のエフェクト素材を作成し、アニメーションさせる。作った作品はhtml、html5上で動くように編集します。基本、prominenceを使いますが、アフターエフェクトも使えるようになってもらいます。	2年半期	60	4		○		○			○	

13	○		特別授業	江坂公演、日本民家集落博物館での野外スケッチ会、芸術鑑賞、似顔絵、クロッキー強化授業など年間通じて様々な面からスキルをアップする特別授業を行います。	76	2			○		○	○		
14	○		イベント制作	毎年秋に実施される学園祭、CAT祭りを通じイベント制作のプロセスを学びます。クラス単位での参加やグループ毎の参加も可能とし実行委員会を通じて模擬店や作品発表ステージパフォーマンスを行います。	40	1			○		○	○		
15	○		作品展	毎年年度末に実施する「進級卒業作品展」です。全ての授業の集大成として全学年の個人作品を展示します。外部企業様やご父兄にもご案内し、ご来場者の投票により優秀作品を選出し表彰します。	84	2			○		○	○		
16	○		業界研究	就職活動に必要な知識と経験を得るために様々なシミュレーションを実施します。	42	1			○		○	○		
合計					科目		1802単位時間(104単位)							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
学則、第21条、第22条に則り、各学期末の試験結果及び所定の出席日数により決定する。尚、各科目の試験などの内容については、各学科長及び担任と授業担務者が打ち合わせの上、決定する。		1 学年の学期区分	2期
		1 学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地							
大阪アニメーションカレッジ専門学校		平成16年3月30日		田中道信		〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-29-7 (電話) 06-6369-5167							
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地							
学校法人大阪創都学園		昭和63年3月30日		鈴木雅文		〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-29-18 (電話) 06-6369-5164							
分野		認定課程名		認定学科名		専門士		高度専門士					
服飾・家政		文化・教養専門課程		マンガ・イラスト学科(ストーリーコミックコース)		平成17年文部科学省告示第177号		-					
学科の目的		教育基本法、及び学校教育法に基づきマンガ製作やイラスト表現に関し必要とされる技能を養成し、又は教育の向上を図ることを目的とする。											
認定年月日		平成31年3月5日											
修業年限		昼夜		講義		演習		実習		実験		実技	
2 年		昼間		1802		210		1050		482		0 60	
生徒総定員		生徒実員		留学生数(生徒実員の内)		専任教員数		兼任教員数		総教員数			
80人		98人		3人		7人		5人		12人			
学期制度		■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～翌年3月31日				成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 前後期試験結果及び出席・平常点等総合評価					
長期休み		■学年始:4月1日 ■夏 季:7月21日～8月31日 ■冬 季:12月21日～1月9日 ■学年末:翌年3月31日				卒業・進級条件		前後期総合評価結果及び2/3以上の出席					
学修支援等		■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 電話・家庭訪問及び保護者との情報共有				課外活動		■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 地域ボランティア清掃活動、地域イベントでの似顔絵コーナーの出店「イラストワークショップ」開催など ■サークル活動: 有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和4年度卒業生に関する令和5年5月1日時点の情報)					
就職等の状況※2		■主な就職先・業界等(令和4年度卒業生) 出版社、ゲーム制作会社、IT系メディア制作会社 ■就職指導内容 ・企業研修/就職活動対策講座/学内外での企業説明会 ■卒業者数 36 人 ■就職希望者数 22 人 ■就職者数 15 人 ■就職率 68 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 41.7 % ■その他 ・進学者数: 0 人 (令和 4 年度卒業生に関する令和5年5月1日 時点の情報)				主な学修成果(資格・検定等)※3		※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等					
中途退学の現状		■中途退学者 6 名 令和4年4月1日時点において、在学者87名(令和4年4月1日入学者を含む) 令和5年3月31日時点において、在学者 81名(令和5年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 ・経済的理由 ・進路変更 ・学業不振の為 ■中退防止・中退者支援のための取組 個人面談を定期的に実施、個別のマッチング状況を確認。また、毎月の出席率管理を行い保護者とも連絡を取り登校を促すことで継続意欲を持たせる。				■中退率 7 %							
経済的支援制度		■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 特待生制度 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載											
第三者による学校評価		■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)											
当該学科のホームページURL		ホームページにおいて公開(URL: http://www.osaka-anime.jp/data/)											

(留意事項)
1. 公表年月日(※1)
最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください
2. 就職等の状況(※2)
「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。
(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について
①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。
②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。
③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。
※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。
(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について
①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。
②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。
(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進
3. 主な学修成果(※3)
認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

教育課程編成委員会においては、本校教育課程充実に向け、各学科関連業界との連携を密にし、現状カリキュラムの確認や今後取り入れていくべき内容についての関連な意見交換を行う。また、審議内容についての本校教育課程への導入等について審議していくものとする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

本委員会は、各学科ごとに実施運営される。本委員会にて決議した内容については学校長へ答申し、学科別会議や各専攻分会、授業別会議等において、内容等について審議したうえで教育課程編成に可能な範囲で反映していくものとする。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年7月31日現在

名 前	所 属	任期	種別
遊佐 かずしげ	学校法人 京都精華大学 マンガ学部教授	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	②
高垣 雅彦	日本橋まちづくり振興 株式会社 日本橋CGアニメ村事務局 長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	①
佐藤 龍	株式会社 EARLY WING 代表取締役	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	③
高原 久弥	株式会社 ハヤブサフィルム 代表取締役	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	③
小畠 昌男	株式会社 ラクジン 管理部 課長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	③
和田 伸一	大阪アニメーションカレッジ専門学校		総合学科 学科長
佐野 美波	大阪アニメーションカレッジ専門学校		声優学科 学科長
西嶋 信一郎	大阪アニメーションカレッジ専門学校		アニメーション学科 学科長
鈴木 祐	大阪アニメーションカレッジ専門学校		マンガ・イラスト学科 学科長
西尾 拓也	大阪アニメーションカレッジ専門学校		副校長

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (9月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年10月18日 12:30～14:00

第2回 令和5年4月20日 10:00～11:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

ポートフォリオ制作において、ターゲットやコンセプト、リサーチ情報など企業の採用担当者が知りたい内容を盛り込むことで情報を伝える能力を示せるように指導。また、コミュニケーション能力も重視し1年次からグループ制作の授業を実施。2年次は、現場に近い形で、連携作業を考慮したカリキュラムを導入。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校は、カリキュラム・授業構築において業界関係企業との連携を密にし、実践に対応した教育内容を提供するために努力していく。また、内容に応じて業界関係企業と提携し、実技・実習・演習等の運営を委託し実施していく。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

企業連携により目指す職業に必要な不可欠な色彩設計の基礎から幅広い知識と、実際に色を使うための技能の両方に重点をおいて色彩感覚を学びます。全国美術デザイン教育振興会が運営する「色彩士検定3級」を受験取得。又、業界の方を講師として直接指導及び作品審査、評価を頂き、成績評価を行います。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
色彩設計	色彩による視覚効果の理解を深め、作品の中に反映させることを目的とします。色彩士検定3級取得するための対策授業。	株式会社 色彩力一サ

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教職員が学校の基本方針を理解し業務を遂行する上において、自身の自己研鑽に努めることの必要性を理解するとともに、学生・生徒の人材育成において必要な知識や技術の習得を目的とする。また、全体での実施はもちろん、自己研鑽における自発的な研修参加や各種表現活動等についても業務に支障のない範囲でバックアップする。教員は、大阪創都学園 講師・教職員研修規定に基づいて、学園又は各種団体等の研修を受け、資質の向上に努めていく。その内容については、教務部が定める年間行事予定において計画される。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「Adobe Education Forum 2022」(連携企業等:アドビ株式会社、株式会社Too)

期間:令和4年8月2日 対象:教員4名

内容:昨今の教育現場のデジタルツールの変化を理解し、デジタルテクノロジーを活用して人間ならではの創造性を発揮し問題解決に取り組む力「クリエイティブ・デジタルリテラシー」について考察する。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「著作権セミナー」(連携企業:エヌラルゴ行政書士事務所)

期間:令和5年3月23日 対象:教職員75名

内容:教育現場における著作権についての知識を深める

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「クリエイターのための著作権セミナー」(連携企業等:大阪デジタルコンテンツビジネス創出協議会)

期間:令和5年10月 対象:教員4名

内容:ゲームイラストCG業界で働く人のための著作権知識を深めるセミナー

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「Z世代の育て方講座」(連携企業等:NPO法人HELLOlife)

期間:令和6年3月 対象:教職員75名

内容:Z世代の価値観と、個の状況に合わせた育成方法や指導方法の紹介

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価においては、本校にて実施している自己評価を基に、業界企業・教育団体・地域との連携による教育活動など、本校教育活動についてを説明。そして、さらなる教育活動へつなげていくために多角的にその運営が適正に行われているのかを審議・助言いただき、今後の発展・改善に寄与していく。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念・目標
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	教育活動
(4) 学修成果	学修成果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育環境
(7) 学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	※該当なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

・産学協同授業では、例年通り実施し高い学習効果を得ている。
・複数高校との教育プログラム提携を実施。専門的はカリキュラムを高校生向けに再構築し、卒業生支援の一環で本校卒業生を高校へ派遣。マンガイラストの授業を実施している。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和5年7月31日現在

名 前	所 属	任期	種別
石井 博章	江坂企業協議会 副会長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	地域関係者
東 龍太郎	科学技術学園高等学校 通信課程大阪分室長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	教育関係者
三原 淑治	エム・アイ・プランニング株式会社 代表取締役	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	業界関係者
北原 優希	株式会社キャラ 所属ナレーター・タレント	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <http://www.osaka-anime.jp/data/>

公表時期: 10月31日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の理念でもある、“業界にとって信頼できる人材育成機関であること”を実践していくためには、本校教育内容等の情報提供について積極的に行っていくべきである。本校は、学生の日常・教育内容などについてWEBサイト・冊子の発行等を通じて行っていくこととする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校概要、教育理念、教育目標
(2) 各学科等の教育	各専攻カリキュラム概要
(3) 教職員	講師、特別講師
(4) キャリア教育・実践的職業教育	産学協同特別授業
(5) 様々な教育活動・教育環境	日常トピックス、行事レポートの公表
(6) 学生の生活支援	※該当なし
(7) 学生納付金・修学支援	募集要項、教育ローンの案内
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	自己評価、学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	※該当なし
(11) その他	※該当なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <http://www.osaka-anime.jp/data/>

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 マンガ・イラスト学科 ストーリーコミックコース)																
分類				授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択	講義						演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
1	○			デッサン	形を捉えるクロッキー力や明暗、立体感などの捉え方を学び、基礎的な画力をつける ものを見る観察力を養い大型デッサンや応用的な作品作りを目指す。	1・2年 通年	300	20		○		○		○		
2	○			業界概論	将来進む進路である業界を知り、業界に進むための基礎知識を身につけ、就職デビューに向けた指導を含めたポートフォリオ制作	1・2年 通年	120	8	○			○		○		
3	○			色彩設計	色彩士検定3級公式テキストを使用し、色彩の基礎から応用までの幅広い知識と技能を指導する。	1年 半期	30	2	○			○			○	○
4		○		デジタル表現	photoshop、illustrator、コミックスタジオ等のデジタルツールの基本を学び、デジタル作品を作れるようにする。その後、CLIP STUDIO PAINTを使用しデジタル漫画原稿の描画・制作の基礎を学ぶ。	1・2年 通年	240	8			○				○	
5		○		作品制作	1年次は短ページ制作を通じてエピソード作り・見せ方・ストーリー構築を学び16ページの漫画の完成を目指す。2年次は担当付を目的としたマンガ制作。プロット、ネーム、下書き、ペン入れ、仕上げのチェック、年間2本の漫画を完成を目指す。	1・2年 通年	390	26		○					○	
6		○		コミック表現	1年次は漫画作画に必要なテクニックの基礎を学ぶ。2年次は、1年生で学んだ技術の再確認と技術の向上（背景・小道具・カラー作品）・キャラクター強化。個々の目指す技術目標と自己計画に基づいて作品を仕上げる力を付けていく。	1・2年 通年	240	16		○					○	
7		○		演出技法	コミュニケーション能力を高め、効果的な取材プレゼンテーションを行う事ができる。また、企画の基本的な考え方と演出力をアップさせる。 既存の漫画の演出の研究と重要点を考える。	1年 通年	60	2			○				○	
8		○		シナリオ	基礎知識や心構え、構成力など総合的なテクニックを身につけ、独自のストーリーが創作ができる表現者をめざす講座。また多くの事例からそのテクニックやその意図、独自性を学び、取材することの大切さとセンスも養う。	1年 通年	60	4	○						○	
9		○		ビジネスコミック	自分が何を描きたいか、ではなく、クライアントが何を求めているかを知り、その要請に応えるビジネス用漫画制作を学ぶ	2年 通年	120	8		○					○	
10	○			特別授業	江坂公演、日本民家集落博物館での野外スケッチ会、芸術鑑賞、似顔絵、クロッキー強化授業など年間通じて様々な面からスキルをアップする特別授業を行います。		76	2			○		○	○		
11	○			イベント制作	毎年秋に実施される学園祭、CAT祭りを通じイベント制作のプロセスを学びます。クラス単位での参加やグループ毎の参加も可能とし実行委員会を通じて模擬店や作品発表ステージパフォーマンスを行います。		40	1			○		○	○		
12	○			作品展	毎年年度末に実施する「進級卒業作品展」です。全ての授業の集大成として全学年の個人作品を展示します。外部企業様やご父兄にもご案内し、ご来場者の投票により優秀作品を選出し表彰します。		84	2			○		○	○		

13	○			業界研究	就職活動に必要な知識と経験を得るために様々なシミュレーションを実施します。		42	1			○		○	○		
合計					科目	1802単位時間100単位)										

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
学則、第21条、第22条に則り、各学期末の試験結果及び所定の出席日数により決定する。尚、各科目の試験などの内容については、各学科長及び担任と授業担務者が打ち合わせの上、決定する。		1 学年の学期区分	2期
		1 学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。